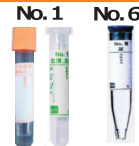


免疫学的検査



血漿蛋白

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3531	免疫電気泳動 (抗ヒト全血清) 5A135-0000-023-081	血清 0.2	1	冷蔵	5~7	170 免疫	免疫電気泳動法			【高値】 *単一クローン性:悪性M蛋白血症 多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症 *多クローン性悪性リンパ腫 悪性腫瘍・慢性炎症 【低値】免疫不全症 ネフローゼ症候群
4241	免疫電気泳動 (特異抗血清) 5A136-0000-023-086	血清 0.4	1	冷蔵	5~7	224 免疫	免疫固定法			
3561	免疫電気泳動(尿) 5A135-0000-001-086	尿 10	6	冷蔵	5~7	201 免疫	免疫固定法			
3534	BJ蛋白同定 5A145-0000-001-086	尿 10	6	冷蔵	4~6	201 免疫	免疫固定法			【高値】多発性骨髄腫・骨肉腫 マクログロブリン血症 原発性アミロイドーシス 慢性リンパ性白血病
2933	遊離L鎖κ/λ比 (免疫グロブリン遊離 L鎖κ/λ比) 5A141-0000-023-062	血清 0.4	1	冷蔵	3~8	388 免疫	LA	κ鎖:3.3~19.4 λ鎖:5.7~26.3 mg/L κ/λ比:0.26~1.65		【異常】多発性骨髄腫・肝疾患・SLE 原発性ALアミロイドーシス 原発性マクログロブリン血症
3535	IgG 5A010-0000-023-061	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	38 免疫	TIA	870~1700 mg/dL		【高値】慢性肝炎・肝硬変・肝癌 感染症(急性・慢性)・IgG型骨髄腫 【低値】原発性免疫不全症候群 リンパ増殖性疾患・ネフローゼ症候群・低栄養
3536	IgA 5A015-0000-023-061	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	38 免疫	TIA	110~410 mg/dL		【高値】肝炎・肝硬変・肝癌 膠原病・IgA腎症・骨髄腫 【低値】原発性免疫不全症候群 ネフローゼ症候群
3537	IgM 5A020-0000-023-061	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	38 免疫	TIA	男 33~190 女 46~260 mg/dL		【高値】肝炎(急性・慢性)・原発性胆汁性肝硬変 原発性マクログロブリン血症 【低値】原発性免疫不全症候群 骨髄腫・蛋白漏出性胃腸症
5023	非特異的IgE 5A090-0000-023-023	血清 0.1	1	冷蔵	2~3	100 免疫	FEIA	170.0以下 IU/mL		【高値】アレルギー性疾患・高IgE血症・寄生虫症 膠原病・骨髄腫・IgE以外のMタンパク産生多発性骨髄腫 【低値】サルコイドーシス 原発性・先天性免疫不全症
3574	プレアルブミン (トランスサイレチン) 5C010-0000-023-061	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	107 免疫	TIA	22.0~40.0 mg/dL		【高値】ネフローゼ症候群 急性肝炎回復期・妊娠後期 【低値】肝実質障害・炎症性疾患 感染症・悪性腫瘍・ステロイド投与
3516	CRP(定量) 5C070-0000-023-062	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	16 免疫	LA	0.30以下 mg/dL		【高値】炎症性疾患・心筋梗塞 感染症・悪性腫瘍 自己免疫性疾患
2396	高感度CRP	血清 0.5	1	冷蔵	3~7		ネフェロメトリー	1500以下 ng/mL		【高値】動脈硬化症・血栓症 クラミジアニューモニイ感染症 炎症性疾患
3540	α ₁ -アンチトリプシン 5C020-0000-023-063	血清 0.4	1	冷蔵	3~5	80 血液	ネフェロメトリー	94~150 mg/dL		【高値】急性・慢性炎症性疾患 悪性腫瘍・自己免疫性疾患 【低値】α ₁ -AT欠損症・ネフローゼ症候群 肝障害・蛋白漏出性胃腸症
5079	α ₁ -ミクログロブリン	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	136 免疫	LA	男 11.0~26.0 女 10.0~21.0 mg/L		【高値】糸球体腎炎(急性・慢性) ネフローゼ症候群・腎不全 IgA型骨髄腫 【低値】劇症肝炎・非代償性肝硬変
9442		尿 1	6	冷蔵	1~3	136 免疫		男 10.5以下 女 6.5以下 mg/L		【高値】腎糸球体障害・腎尿管障害 【低値】劇症肝炎・肝切除・肝硬変
3579	α ₁ -酸性糖蛋白 5C025-0000-023-063	血清 0.5	1	冷蔵	3~4		ネフェロメトリー	42~93 mg/dL		【高値】悪性腫瘍・感染症 自己免疫疾患・炎症性疾患 【低値】肝硬変・ネフローゼ症候群
3541	α ₂ -マクログロブリン 5C035-0000-023-063	血清 0.4	1	冷蔵	3~5	138 血液	ネフェロメトリー	男 100~200 女 130~250 mg/dL		【高値】慢性腎炎・糖尿病性腎症 ネフローゼ症候群・慢性肝炎・肝硬変 【低値】急性肺炎増悪期 潰瘍性大腸炎・多発性骨髄腫
3542	セルロプラスミン 5C045-0000-023-063	血清 0.4	1	冷蔵	3~5	90 免疫	ネフェロメトリー	21~37 mg/dL		【高値】急性・慢性炎症・膠原病 心筋梗塞 【低値】ウイルス病・肝硬変・肝癌 蛋白漏出性胃腸症・ネフローゼ症候群

出血・凝固検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上行った場合
3項目又は4項目:530点 5項目以上:722点

※免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)及び免疫電気泳動法(特異抗血清)については、同一検体につき一回に限り算定する。同一検体について免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)及び免疫電気泳動法(特異抗血清)を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。免疫電気泳動法(特異抗血清)は、免疫固定法により実施した場合にも算定できる。

※免疫グロブリンL鎖κ/λ比はネフェロメトリー法により、高免疫グロブリン血症の鑑別のために測定した場合に算定できる。

免疫グロブリンL鎖κ/λ比と免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)又は免疫電気泳動法(特異抗血清)を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。



血漿蛋白

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3543	トランスフェリン	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	60 免疫	ネフェロメトリ	200~320 mg/dL		【高値】鉄欠乏性貧血・真性多血症 急性肝炎の一部・妊娠 【低値】肝硬変・急性炎症疾患 再生不良性貧血・無トランスフェリン血症
3806	5C060-0000-023-061 5C060-0000-041-061	髄液 1.0	35		2~4			mg/dL		【高値】早期糖尿病性腎症 尿管障害
3816	トランスフェリン(尿)	尿 1	6	冷蔵	3~5	104 尿・便	LA	1.00以下 mg/g・cr		【高値】腎不全・糖尿病性腎症 ネフローゼ症候群
3828	KL-6 (シアル化糖鎖抗原)	血清 0.2	1	冷蔵	1~3	114 生化I	LTIA	500.0未満 U/mL		【高値】間質性肺炎 過敏性肺炎 一部の肺癌
2468	SP-A (サーファクタント蛋白A)	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	130 生化I	CLEIA	43.8未満 ng/mL		【高値】特発性間質性肺炎 肺線維症・膠原病・過敏性肺炎
3829	SP-D (サーファクタント蛋白D)	血清 0.2	1	冷蔵	3~5	136 生化I	EIA	110未満 ng/mL		【高値】特発性間質性肺炎 膠原病性間質性肺炎
3552	パイログロブリン	血清 1.0	1	凍結	2~4		加温法	(-)		【高値】多発性骨髄腫・悪性リンパ腫 原発性マクログロブリン血症
3548	ハプトグロビン	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	136 免疫	ネフェロメトリ	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 mg/dL		【高値】炎症性疾患・悪性腫瘍 心筋梗塞 【低値】溶血性貧血・肝疾患 発作性夜間血色素尿症
3551	クリオグロブリン	血清 1.0	1	凍結	5~7	42 免疫	寒冷沈殿法 (Wart法)	(-)	血清分離までは37℃で、血清 分離後は凍結して下さい。	【高値】原発性マクログロブリン血症 クリオグロブリン血症 多発性骨髄腫・感染症
9226	ヘモペキシン	血清 0.4	1	冷蔵	3~4	180 免疫	ネフェロメトリ	63~109 mg/dL		【高値】心筋梗塞・自己免疫疾患 悪性腫瘍・炎症性疾患・感染症 【低値】肝機能障害・ネフローゼ症候群 溶血性貧血
9044	β ₂ -ミクログロブリン (β ₂ -m)	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	104 免疫	LA	0.7~2.2 mg/L		*血:正常/尿:高値 尿管機能障害 *血:高値/尿:正常 腎糸球体濾過機能低下・肝炎 肝硬変・悪性腫瘍・自己免疫性疾患 *血:高値/尿:高値 慢性腎不全・尿毒症 糖尿病性腎症・悪性腫瘍・肝疾患
9045		5C065-0000-023-062 5C065-0000-001-062	尿 1	6	冷蔵	1~3		104 免疫		
9356	P-Ⅲ-P	血清 0.4	1	冷蔵	4~6	140 生化I	IRMA	0.3~0.8 U/mL		【高値】急性肝炎・慢性活動性肝炎 原発性胆汁性肝硬変 アルコール性肝障害
9133	心室筋ミオシン軽鎖I	血清 0.5	1	冷蔵	3~6	184 生化I	EIA	2.5以下 ng/mL		【高値】心筋梗塞・筋ジストロフィー 筋炎・腎機能低下
9018	血清アミロイドA蛋白 (SAA)	血清 1.0	1	冷蔵	1~3	47 免疫	LA	8.0以下 μg/mL		【高値】ウイルス感染症・真菌感染 悪性腫瘍・自己免疫性疾患 心筋梗塞・糖尿病
9177	ミエリンベースック蛋白 (MBP)	髄液 0.3	35	凍結	4~10	577 尿・便	ELISA	102以下 pg/mL		【高値】多発性硬化症(MS) 神経ペーチェット増悪期・脳梗塞
2713	オリゴクローナルバンド	血清および髄液 各1.0	1 および 35	冷蔵	11~15	522 尿・便	等電点電気 泳動法	(-)	血清および髄液のペア検体 で提出して下さい。	【陽性】Guillain-Barré症候群 多発性硬化症・細菌性・真菌性髄膜炎 亜急性硬化性全脳炎 単純ヘルペス脳炎
9014	フェリチン	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	108 生化I	LA	男 13~277 女 5~152 ng/mL		【高値】再生不良性貧血・悪性腫瘍 肝疾患・腎不全・心筋梗塞 炎症性疾患 【低値】鉄欠乏性貧血・出血・妊娠

※心室筋ミオシン軽鎖Iは、同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。
 ※血清アミロイドA蛋白(SAA)をC反応性蛋白(CRP)定性、C反応性蛋白(CRP)と併せて測定した場合は、主たるもののみを算定する。
 ※トランスフェリン(尿)、アルブミン定量(尿)及びⅣ型コラーゲン(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3か月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
 ※Ⅳ型コラーゲン又はⅣ型コラーゲン・7Sは、P-Ⅲ-Pと併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
 ※SP-D(肺サーファクタント蛋白D)、KL-6及びSP-A(肺サーファクタント蛋白A)のうちいずれか複数を実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ※ミエリン塩基性蛋白(MBP)(髄液)、オリゴクローナルバンドは、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。

免疫学的検査



血漿蛋白

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
9075	ミオグロビン 5C090-0000-023-062 5C090-0000-001-062	血清 0.5	1	凍結	1~3	139 生化I	LA	65以下 ng/mL		【高値】心筋梗塞 筋ジストロフィー 筋炎・運動・腎機能低下 甲状腺機能低下症
9070		尿 5	6	凍結	1~3			20以下 ng/mL		
2319	H-FABP (ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白) 5C091-0000-023-062	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	139 生化I	ラテックス 凝集法	6.2未満 ng/mL		【高値】急性心筋梗塞 心筋障害
2961	L-FABP (尿中L型脂肪酸結合蛋白) 5C100-0000-001-052	部分尿 1	6	冷蔵	4~5	210 尿・便	CLEIA	8.4以下 μg/g・Cr		【高値】糖尿病性腎症 非糖尿病性慢性糸球体疾患 急性腎障害・尿路感染症
9233	IV型コラーゲン7S 5C135-0000-023-001	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	148 生化I	RIA (2抗体法)	5.0以下 ng/mL		【高値】肝硬変症・慢性活動性肝炎 肝腫・アルコール性肝障害・糖尿病
9697	IV型コラーゲン 5C134-0000-023-062 5C134-0000-006-023	血清 0.4	1	冷蔵	3~5	139 生化I	LA (ラテックス 凝集比濁法)	150以下 ng/mL		【高値】肝細胞癌・肝硬変症 肝炎(急性・慢性)・劇症肝炎 筋線維症・糖尿病性腎症
2351		早朝 第一尿 5	75	冷蔵	4~10	189 尿・便	EIA	随時尿 7.3以下 30歳代 4.0以下 40歳代 4.9以下 μg/g・Cr	尿は容器の2本のライン の間に収まるように添加して ください。	【高値】糖尿病性腎症初期 腎不全
9000	ECP (好酸球塩基性蛋白) 5C180-0000-023-023	血清 0.5	80	凍結	4~10		FEIA	14.9以下 μg/L	採血条件の注意 血液2.5~3.0mLを専用容 器に採取し、転倒混和を5回 繰り返した後、室温で60~1 20分放置します。静置後10 分間遠心分離し血清をスピ ンにいて提出してください。	【高値】気管支喘息 アトピー性疾患 (皮膚炎・結膜炎・鼻炎) 寄生虫疾患
2249	心筋トロポニンT 5C093-0000-023-053	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	115 生化I	ECLIA	0.014以下 ng/mL		【高値】急性心筋梗塞・狭心症 心不全
2658	IgGサブクラスIgG4 5A058-0000-023-062	血清 0.4	1	冷蔵	3~4	377 免疫	LA	11.0~121.0 mg/dL		【高値】自己免疫性膵炎・ミクリツ病 【低値】IgGサブクラス欠損 小脳性運動失調症

※IV型コラーゲン(尿)、トランスフェリン(尿)及びアルブミン定量(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3か月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

※IV型コラーゲン又はIV型コラーゲン・7Sは、P-III-Pと併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。

※心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)は、急性心筋梗塞の診断を目的に用いた場合にのみ算定する。ただし、心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)とミオグロビンを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)は、原則として3月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要性からそれ以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。